

明治国際医療大学誌編集委員長（研究部長） 雨貝 孝

明治国際医療大学誌第7号は、2つの総説と2つの報告を掲載しております。最初の総説は、田中忠蔵教授のご退職記念講演をもとにした総説です。田中先生は、本学附属病院が昭和62年に開設された当初から脳神経外科学教室を主宰され、4半世紀にわたって本学の教育・研究・診療の先頭に立ってこられました。本誌の総説で示されている「医療技術の水準とその評価」についての問題提起は、本学で医療に携わる者が、それぞれの場で考えてゆくべき点を示していただいています。松本准教授の総説は、日本の医療史の中から、柔道整復学の学問体系を問い直して行く必要性を示した示唆に富む問題提起です。

2つの報告では、看護学部での統合医療・補完代替医療への取り組みの状況を示す内容です。本学の独自性としてどのような質を持った看護教育・研究を展開してゆくのかという点からも今後の議論の材料を提供していただいています。

本誌の内容を活用され、様々なところで活発な議論が交わされることを期待します。（平成24年8月2日記）